

「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」による本市の将来推計人口について

国の研究機関「国立社会保障・人口問題研究所」により、2015年の国勢調査を基に都道府県・市区町村別の将来の人口が公表された。

【本市における推計結果のポイント】

■ 2015年国勢調査と2045年将来推計の比較

○総人口は15.0%減少し、年齢三区分別では15歳未満、15～64歳未満は30%弱減少が見込まれる一方、65歳以上は22.4%増加し、高齢化率は、27.0%から38.6%に増加。

○人口減少、少子・高齢化の進行という大きな動向に変更はなく、人口減少に歯止めがかかる状況とはなっていない。

	総人口(人)			
	15歳未満	15～64歳未満	65歳以上	
2015年国勢調査	810,157	98,367 (12.2%)	488,815 (60.8%)	217,107 (27.0%)
2045年将来推計	688,878	70,791 (10.3%)	352,249 (51.1%)	265,838 (38.6%)
差引 (増減率)	▲121,279 (▲15.0)	▲27,576 (▲28.0%)	▲136,566 (▲27.9%)	48,731 (22.4%)

※年齢不詳があるため2015年の総人口と年齢三区分別人口の計は一致しない

■ 前回2013年推計との比較

○2015年の国勢調査の結果の反映により、前回推計と比較すると2040年の総人口の推計は、51,096人増加し719,441人と人口減少の速度は、やや緩和する見込みとなっている。

○65歳以上人口割合の推計は0.4ポイント低下し36.8%が見込まれ、高齢化の進行度合は前回推計と比較し、大きく変化しない想定となっている。

	2040年総人口(人)			
	15歳未満	15～64歳未満	65歳以上	
2013年推計 (2010年国勢調査ベース)	668,345	63,220 (9.5%)	355,904 (53.3%)	249,221 (37.2%)
2018年推計 (2015年国勢調査ベース)	719,441	74,793 (10.4%)	380,028 (52.8%)	264,620 (36.8%)
差引	51,096	11,573 (0.9P)	24,124 (▲0.5P)	15,399 (▲0.4P)

＜参考：本市の総人口の推移と推計＞

